

伊豆東部火山群の

地震活動の見通しに関する情報と

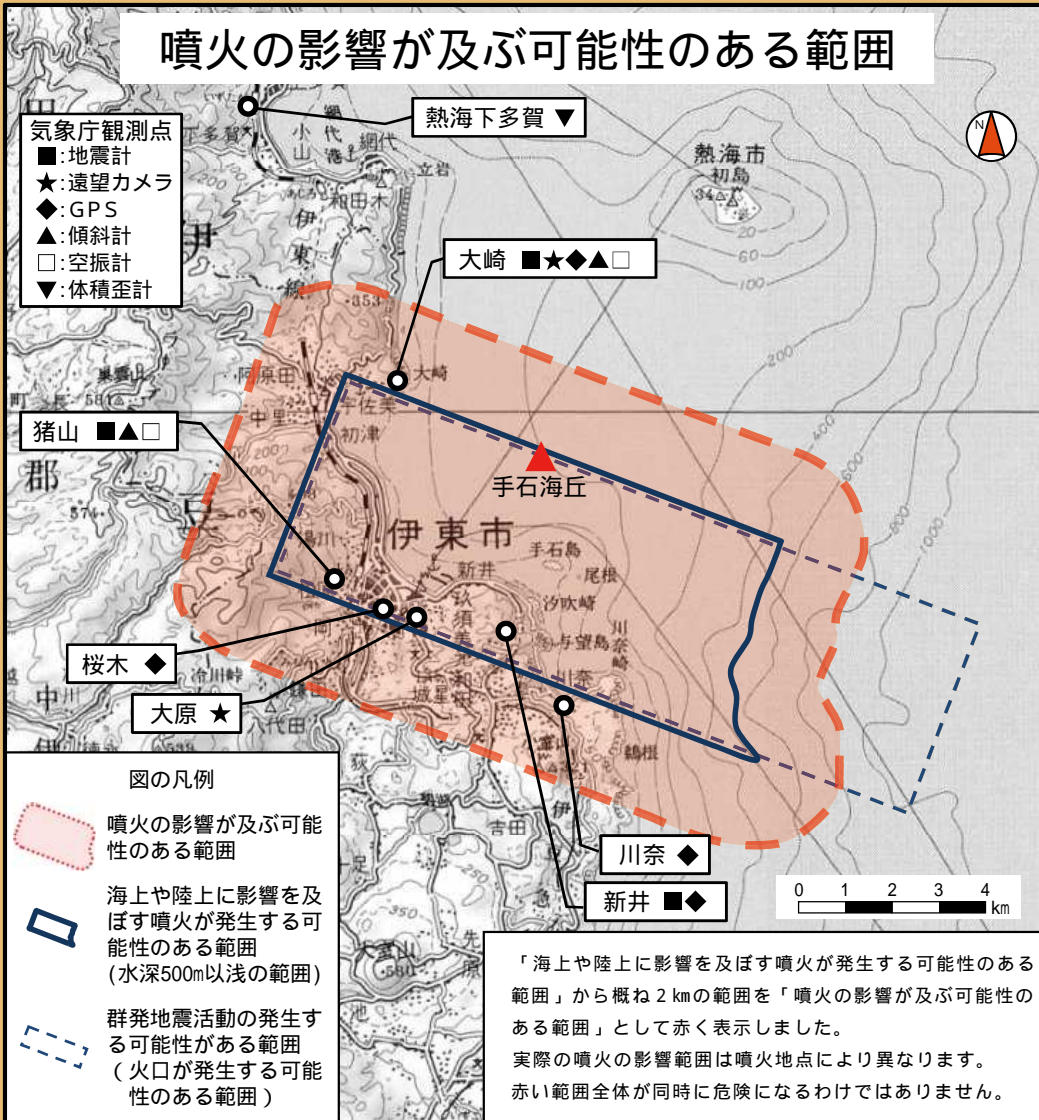
噴火警戒レベル



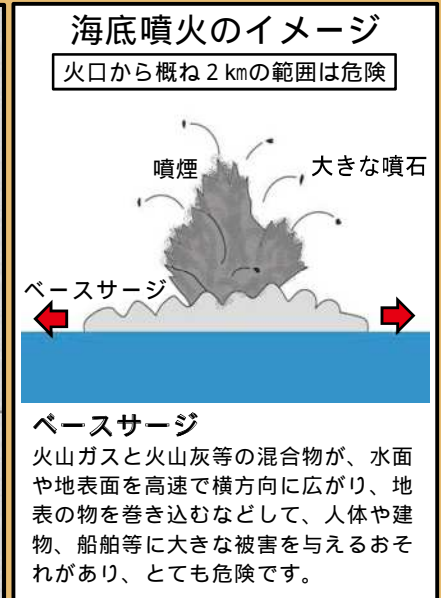
伊豆東部火山群の大室山

写真提供 伊東市

- 伊豆東部火山群では、地下のマグマ活動に関連した活発な群発地震活動が発生することがあります。そのマグマが地表のごく浅部まで上昇すると噴火することがあります。
- 活発な群発地震活動の発生が予測された場合、「地震活動の見通しに関する情報」を公表します。
- 噴火の可能性が高まった場合、噴火警戒レベル4または5の噴火警報を公表します。
- 周辺の海域には、火山現象に関する海上警報を公表します。
- 「地震活動の見通しに関する情報」と「噴火警戒レベル」を活用して、適切な防災対応をお願いします。



この図は、国土地理院発行の20万分の1の地勢図「横須賀」を使用して作成しています。

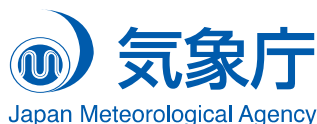


噴火警戒レベル4, 5における規制範囲や避難地域等、具体的な避難対応等については、地域防災計画等で定められています。詳細については伊東市、伊豆市にお問い合わせください。

伊豆東部火山群の「地震活動の見通しに関する情報」と「噴火警戒レベル」を活用した防災対策については、「伊豆東部火山群の火山防災対策検討会」において、地元自治体等と協議されたものです。



本冊子は、植物油インクを使用しています。



問い合わせ先

気象庁地震火山部 火山課 火山監視・警報センター
地震予知情報課

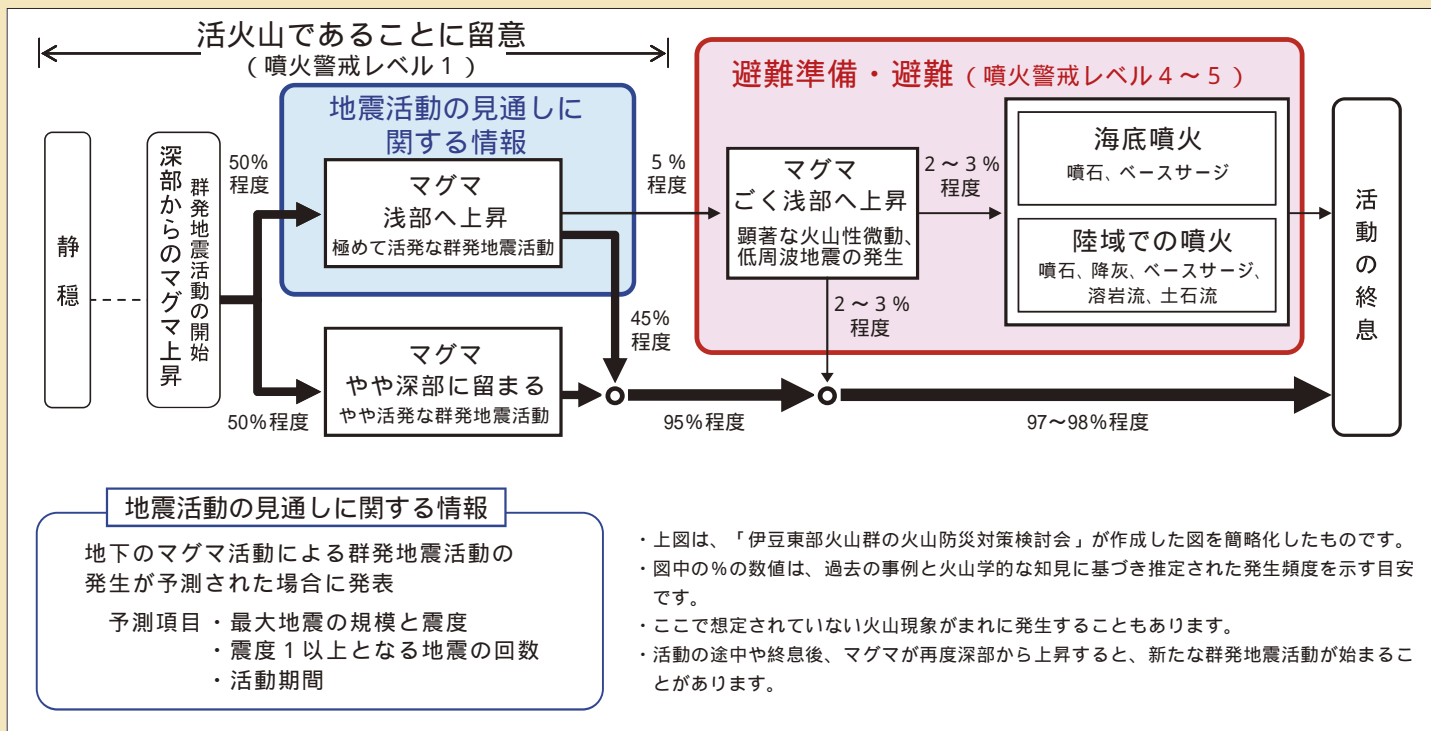
TEL: 03-3212-8341 (代表) <http://www.jma.go.jp/>

静岡地方気象台

TEL: 054-286-3521 <http://www.jma-net.go.jp/shizuoka/>

伊豆東部火山群で予想される活動推移

－「地震活動の見通しに関する情報」と「噴火警戒レベル」－



伊豆東部火山群の噴火警戒レベル

予報警報	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動	想定される現象等
噴火警報	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	マグマ水蒸気爆発の発生により大きな噴石、ベースサージが居住地域に到達する。 低周波地震活動の多発、火山性微動の発生。 過去事例 平成元年(1989年)7月11日の低周波地震活動の多発、火山性微動の発生、7月13日の海底噴火。
	レベル4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備、災害時要援護者の避難等が必要。	低周波地震活動の活発化。 過去事例 平成元年(1989年)7月10日の低周波地震活動の活発化。
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 危険な地域への立入規制等。	【レベル2、3の発表について】 活動が活発化するとき 噴火の可能性が高まっていく段階では、レベル2、3の発表はなく、レベル4以上が発表されます。 活動が沈静化するとき 火山活動が沈静化し、レベル5からレベルを下げる段階で、火山活動の状況に応じてレベル2、3を発表する場合があります。
	レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 火口周辺への立入規制等。	
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意) 地震活動の見通しに関する情報の発表	火山活動は静穏。 [地下深部のマグマ活動により、活発な群発地震活動が発生することがある。]	住民は通常の生活。 [危険な場所を避けたり、家具を固定するなど、大きな揺れに対する対策が必要。]	火山活動は静穏。 活発な群発地震活動により、最大震度5弱~6弱程度の大きな揺れとなることがある。 過去事例 平成18年(2006年)4月、平成21年(2009年)12月の群発地震活動等。

注1) ここでいう「大きな噴石」とは、主として風の影響を受けずに弾道を描いて飛散するものとする。
注2) 噴火警報(噴火警戒レベル4(避難準備)、5(避難))は、特別警報に位置付けられています。